

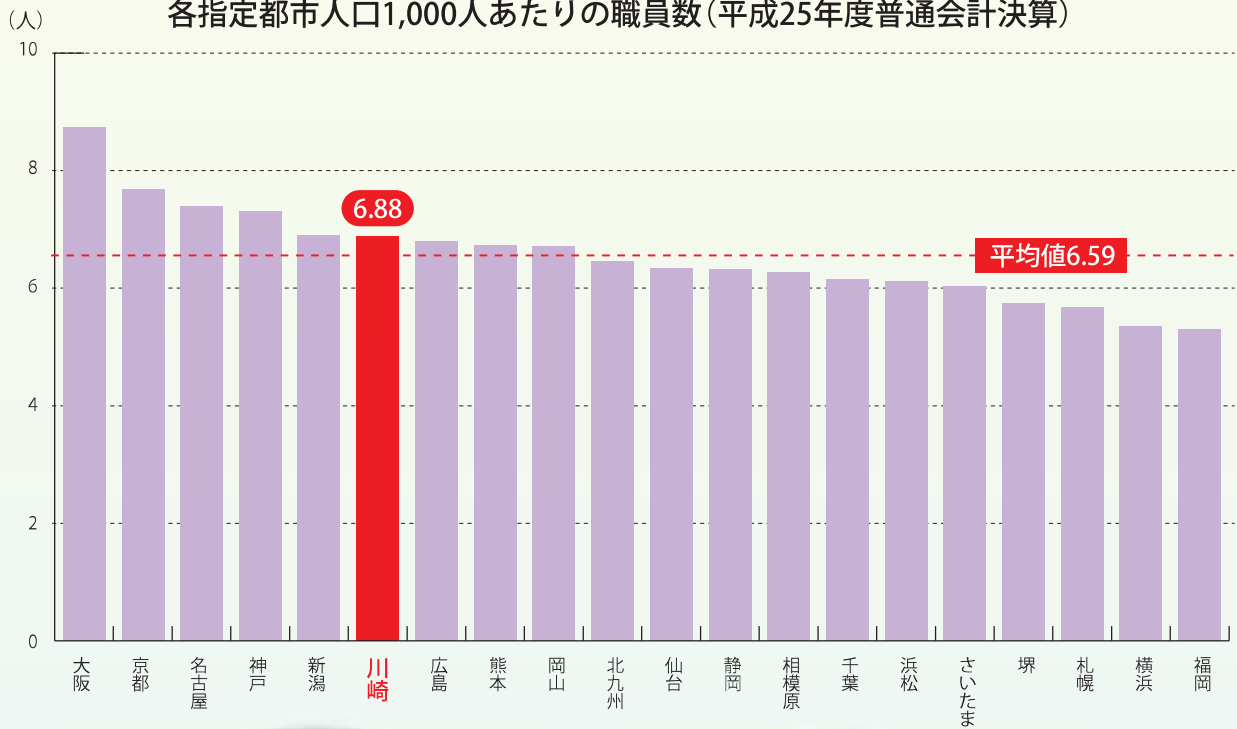
10 人件費は高いのかな？

次に、削減努力をしている
人件費について見てみま
しょう。
まずは職員数です。



職員の数をお他の都市と比べてみよう

各指定都市人口1,000人あたりの職員数(平成25年度普通会計決算)

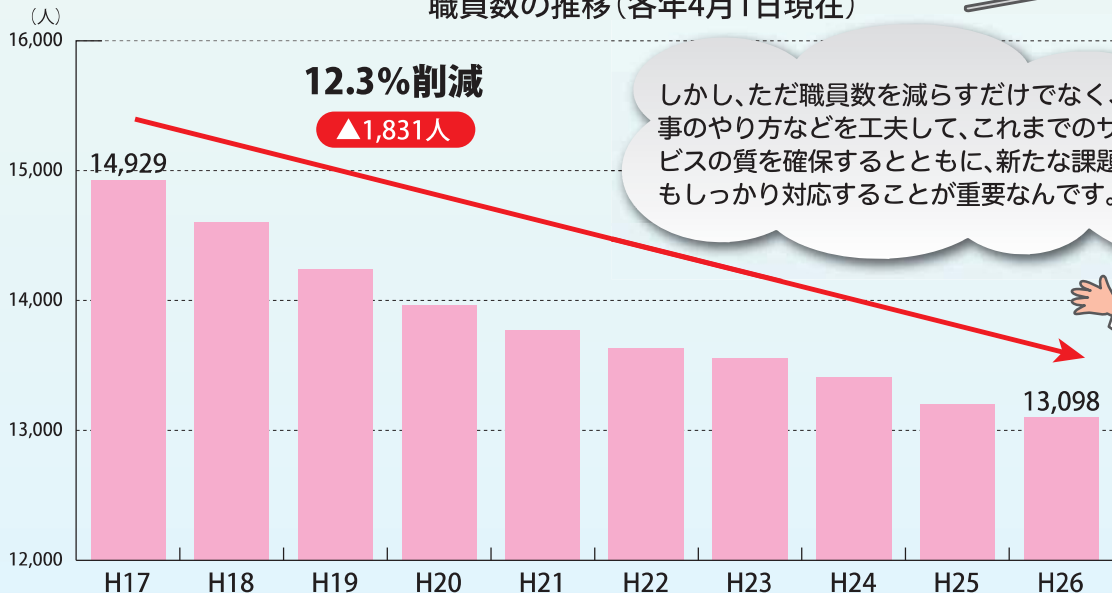


川崎市は平均を上回っているんですね。
指定都市の中では6番目に多いですね。

でも、下のグラフを見てく
ださい。
職員数はだいぶ減って
きています。



職員数の推移(各年4月1日現在)



しかし、ただ職員数を減らすだけでなく、仕
事のやり方などを工夫して、これまでのサー
ビスの質を確保するとともに、新たな課題に
もしっかり対応することが重要なんです。





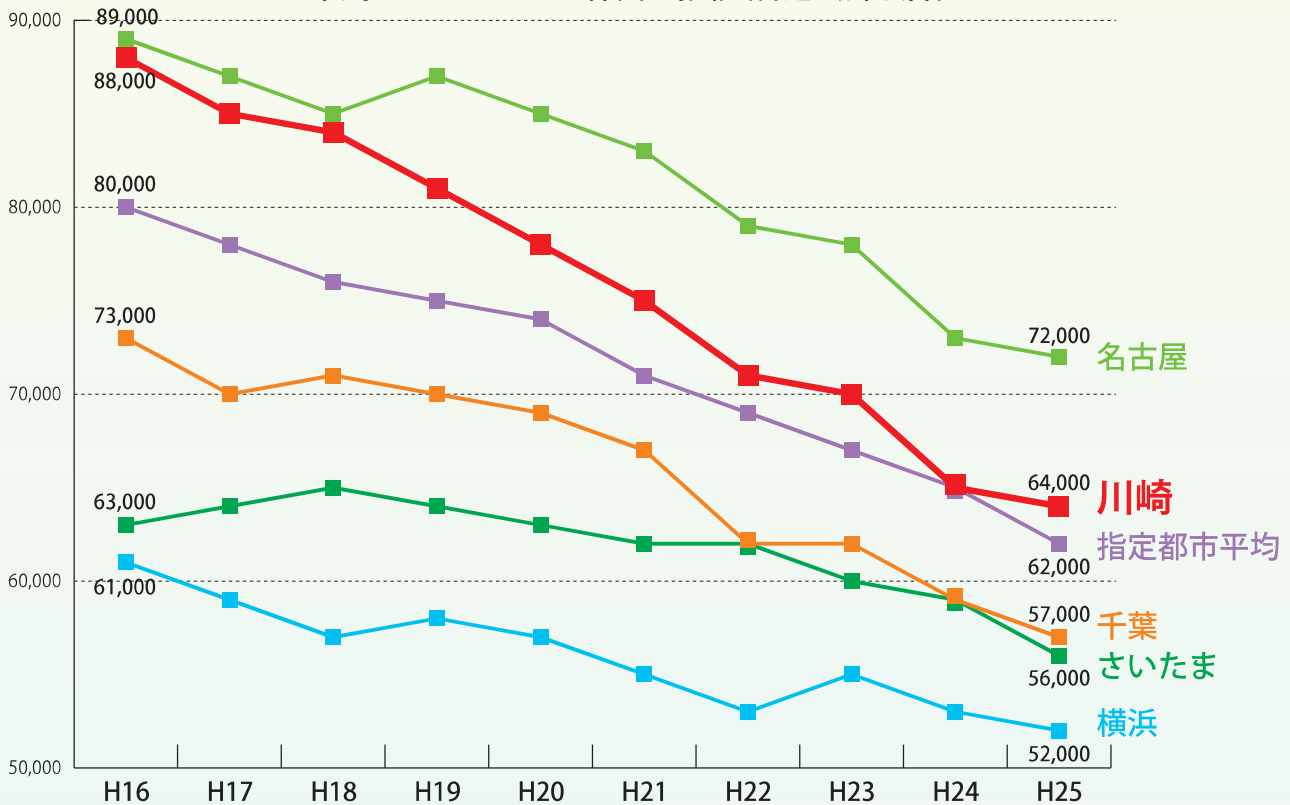
では、職員の給与などの人件費はどのくらいですか？

それは、このグラフを見てください。



職員の人件費を市民一人あたりで比べてみよう

市民一人あたりの人件費の推移(普通会計決算)



職員数と同様に川崎市の人件費も年々減ってきていますね。しかし、近隣の指定都市と比べると、まだ高いですね。

改革の取組で着実に減少してきていますが、他の都市も同様な状況です。引き続き、行政のスリム化に向けて取り組むべきですね。

財政の健康診断

財政状況をチェックする4つの指標

地方自治体は、平成19年度決算から財政の健全性を判断するための4つの指標を公表することが法律で義務づけられました。川崎市でもこの指標でチェックした結果、どの指標においても財政状況は健全な状況を維持しています。

- 実質赤字比率
- 連結実質赤字比率
- 実質公債費比率
- 将来負担比率

毎年ちゃんとチェックしているんだね。健康診断と同じだね

